

## 子宮内膜症患者の子宮内膜における 着床関連遺伝子発現変化に関する研究

### 1. 研究の意義, 目的, 方法

子宮内膜症は子宮内膜類似の組織が子宮外で生着進展する疾患で、不妊症の原因になります。子宮内膜症患者では受精卵の子宮への着床が障害されている可能性があります。本研究では、この機序を解明することを目的とし、体外受精治療周期中に得られた子宮内膜組織を用い、着床に関連する遺伝子の発現変化を内膜症患者と非内膜症患者との比較において検証します。本研究はデンマークオーフス大学との共同研究にて行います。

### 2. 研究機関名

名古屋大学医学部産婦人科

### 3. 研究に係る研究者等の氏名

#### 1 研究責任者（所属・職名・氏名）

名古屋大学医学部附属病院総合周産期母子医療センター・准教授・岩瀬明

#### 2 研究分担者（所属・職名・氏名）

名古屋大学医学部附属病院産科婦人科・病院講師・後藤真紀

名古屋大学大学院医学系研究科附属地域医療支援センター産婦人科学・特任助教・中原辰夫

名古屋大学医学部附属病院産科婦人科・医員・中村智子

名古屋大学医学部附属病院産科婦人科・医員・近藤美佳

名古屋大学医学部附属病院産科婦人科・医員・大須賀智子

名古屋大学医学部附属病院産科婦人科・医員・森正彦

名古屋大学医学部附属病院産科婦人科・医員・齋藤愛

名古屋大学医学部附属病院産科婦人科・医員・加藤奈緒

名古屋大学医学部附属病院産科婦人科・医員・邨瀬智彦

名古屋大学医学部附属病院総合周産期母子医療センター・医員・石田千晴

#### 3 共同研究者（所属・職名・氏名）

Ulla Breth Knudsen, professor, consultant<sup>1</sup>, Ph.D.

Pia Møller Martensen, associate professor<sup>2</sup>, Ph.D.

Lise Lotte Hansen, associate professor<sup>3</sup>, Ph.D.

<sup>1</sup>Gynecology-Obstetric Department Y, Fertility Clinic, Aarhus University Hospital, Skejby.

<sup>2</sup>Department of Molecular Biology and Genetics, Aarhus University.

<sup>3</sup>Department of Biomedicine - Human Genetics, Aarhus University

#### 4. 個人情報の利用目的

子宮内膜症患者と非子宮内膜症患者において、体外受精治療結果（受精率、受精卵グレード、胚発育の状況、着床率、妊娠率、流産率）、血清・卵胞液ホルモン値、着床関連遺伝子発現 (HoxA10, 11, ISG12A, 12B, 12C, 20, EMP2, ESR1, 2 PRA, B) を比較検討します。

#### 5. 開示等の求めに応じる手続方法、苦情の申出先及び問い合わせ先

研究結果の開示、本研究に対する苦情、問い合わせについては、下記までご連絡をお願いいたします。

説明担当医師氏名：岩瀬 明

（電話 052-744-2261、ファックス 052-744-2268）

名古屋大学医学部総務課

（電話 052-744-1901）